

結核通信

(医療機関の皆様へ)

令和5年度号 令和5年9月発行

兵庫県西播磨県民局赤穂健康福祉事務所（赤穂保健所）

地域保健課 発行

電話：0791-43-2321

日頃から、結核対策業務にご協力いただきありがとうございます。

令和4年結核の年報集計によると罹患率は人口10万対8.2で、前年に比べ1.0減少しました。令和3年に罹患率が人口10万対9.2となり日本は結核低蔓延国の仲間入りをし、令和4年も継続しています。

しかしこれは①新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から受診控え、②健康診断受診者の減少、③接触者健診(特に家族外の接触者)の停滞による患者発見の減少が考えられます。

一方①入国制限による外国出生者の減少、②新型コロナウイルス感染症対策として実施された「三密の回避」により新規感染が減少した可能性から実際の結核患者数が減少したことも考えられます。

いずれにしても結核は依然として我が国の主要な感染症であり、引き続き着実な対策が求められています。

令和4年の赤穂健康福祉事務所（保健所）管内の結核の状況についてまとめましたので、結核通信としてお知らせします。

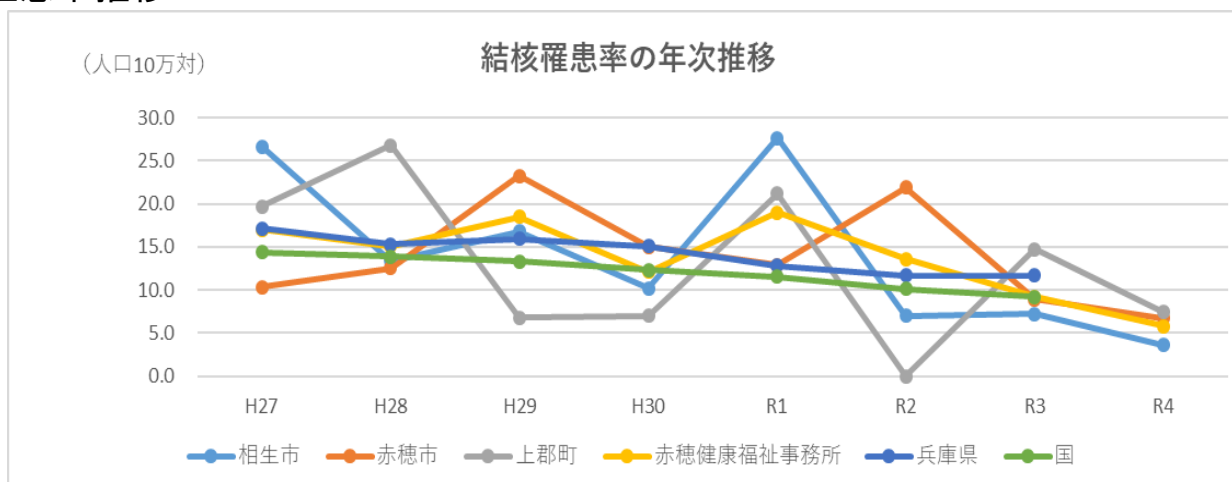
■管内の状況

(1) 令和4年新登録結核患者数

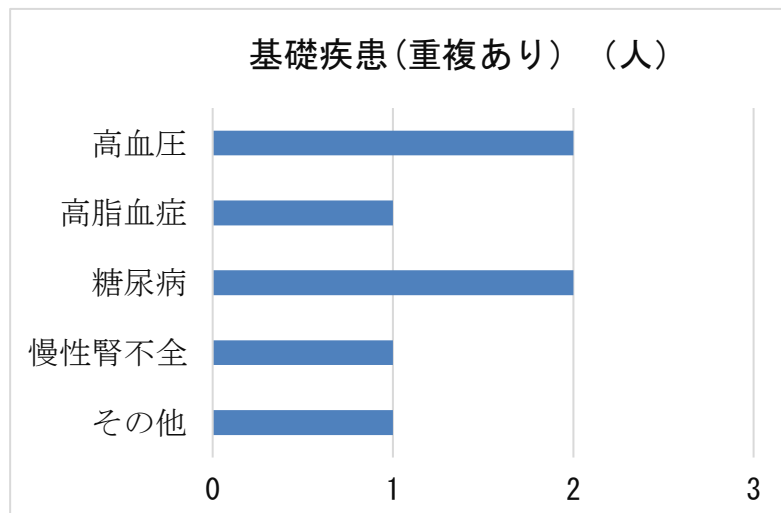
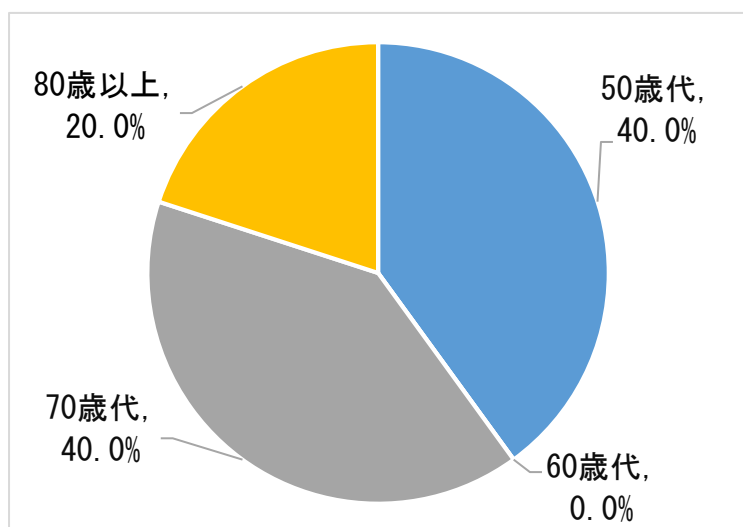
- ① 管内の結核の罹患率（人口10万対新登録患者数）は、年によって変動しますが、ほぼ兵庫県並の罹患率で、年々微減状況です。直近の令和4年には、8名の新登録患者が発生しています。
- ② 新登録患者の年齢をみると、60%が65歳以上の高齢者です。高齢患者の増加に伴い独居や社会福祉施設等の利用者の増加、また認知症や結核以外の身体疾患を併せ持つ人の増加等、個別の支援課題への対応が求められています。

	患者数（人）					
	総数	活動性結核			肺外結核	(別掲)潜在性結核感染症
		喀痰塗抹陽性	その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
相生市	1	0	0	0	1	1
赤穂市	3	0	2	0	1	1
上郡町	1	0	0	0	1	1
赤穂健康福祉事務所管内	5	0	2	0	3	3

(2) 結核罹患率推移



■新登録結核患者(潜在性結核感染症を除く)の状況



- ① 全ての新登録患者が、高血圧、高脂血症、糖尿病、慢性腎不全等で医療機関に通院中でした。
- ② 定期的に医療機関に通院中していたが結核の診断までに2ヶ月以上要した患者がありました。

■赤穂健康福祉事務所の取り組み

- ① 疫学調査を実施し、感染源や感染経路の究明や、接触者健診の企画及び実施を行い、要精密者には、早期の医療機関受診を勧奨しています。
- ② 服薬継続のアセスメント票の活用し、医療機関と連携した DOTS カンファレンスや定期的な所内カンファレンスを行い、地域 DOTS の方法を選択し患者支援につなげています。
- ③ 住民や関係機関に対し、結核予防についての知識の普及啓発を行い、患者の早期発見を目指しています。
- ④ 感染防止対策として、結核患者発生時の確実な接触者健診の実施、結核患者との接触機会の多い高齢者ケアスタッフや医療従事者等への標準予防策の徹底等について啓発を行っています。



赤穂健康福祉事務所(保健所)からのお願い



- ① 通院しているから健診を受けなくても大丈夫と考えている高齢者が多いため、健診の受診を勧奨していただくとともに、**年1回は呼吸器症状がなくても胸部レントゲン検査**をお願いします。
- ② **咳等の呼吸器症状が長引く場合は胸部レントゲン検査に加え、喀痰検査(塗抹・培養の両方、また、培養陽性の場合は薬剤感受性検査も必要)**の実施をお願いします。
※ 喀痰検査は1回のみでは正しい結果が得にくいため、**必ず3日間連続して**喀痰検査の実施をお願いします。
※ 喀痰検査で結核が否定された場合でも、高齢者の場合は体力低下等によりその後発病することがあります。繰り返し喀痰検査の実施を行うことが重要です。
- ③ 高齢者の結核患者は典型的な咳、痰の症状だけではなく、食欲低下や倦怠感といった結核とは分かりづらい、症状のため発見の遅れにつながる可能性があります。微熱など呼吸器以外の症状の場合は、抗菌薬投与のみで喀痰検査を実施されず、結果として診断が遅れることがあります。
- ④ 医療機関職員については年1回胸部レントゲン検査の実施をお願いするとともに、「結核に係る健康診断(事業所)月報様式第43号」により赤穂健康福祉事務所への報告をお願いいたします。